



誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち



高齢化の進展、地域のつながりの希薄化をはじめ、地域の構造の変化が続いているとともに、ダブルケアや引きこもりをはじめ、地域社会の抱える課題はより複雑で多様なものとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出を控えたり、人と接する機会が減少するなど、私たちの生活様式も大きな変化を受けました。

これらの変化に対応し、市民一人ひとりが悩みを抱え込んで自殺に追い込まれることのないよう、これまで以上に総合的かつ包括的に生きることの支援に取り組む必要があります。

以上のことから、本計画ではこれまで本市で実践してきた取組を継承し、さらなる深化・推進を図るため、第1期計画で掲げた基本理念を踏襲し、「誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち」とし、栗東市で暮らす誰もががつながり、お互いに尊重し、支えあい、共に生きる安心のまちの実現を目指します。



誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち

～つながりと支えあいでいのちを守る 栗東～



高齢化の進展、地域のつながりの希薄化をはじめ、地域の構造の変化が続いているとともに、ダブルケアや引きこもりをはじめ、地域社会の抱える課題はより複雑で多様なものとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出を控えたり、人と接する機会が減少するなど、私たちの生活様式も大きな変化を受けました。

これらの変化に対応し、市民一人ひとりが悩みを抱え込んで自殺に追い込まれることのないよう、これまで以上に総合的かつ包括的に生きることの支援に取り組む必要があります。

以上のことから、本計画ではこれまで本市で実践してきた取組を継承し、さらなる深化・推進を図るため、基本理念を「誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち～つながりと支えあいでいのちを守る 栗東～」とし、栗東市で暮らす誰もがつながり、お互いに尊重し、支えあい、共に生きる安心のまちの実現を目指します。

現行計画の目指す姿を参考にしつつ、副題を追加

地域福祉計画の基本理念「つながり支えあい 誰もが安心して暮らせるまちづくり」を参考